

【生命科学部】令和7年度 FD 活動の「年間報告」

1. 学部独自の FD 活動についての報告（*は必須項目）

(1) 公開授業・ワークショップ

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

①公開授業：

- ・科目：分子生物学
- ・担当教員：千葉志信
- ・実施日時/場所：令和7年6月5日（木）1限，天地館3階 T303 教室
- ・*参加人数：21名（教員19名，職員2名）

②ワークショップ：

- ・実施日時/場所：令和7年6月5日（木）2限，15号館1階 15102 セミナー室
- ・*参加人数：17名（教員17名）
- ・ワークショップでの意見交換内容：「分子生物学」での講義の進め方や工夫について意見を交換し，学部基盤4科目の成績分布と演習・展開科目との連携について相関分析の解析データに基づいて議論を行った。

(2) その他研修会等

※(1)以外の学部 FD として実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

- ・テーマ：学部英語教育の現状と課題について考える
- ・概要：AI 時代に対応した英語教育の推進と英語教育への AI 導入に関するディスカッション
- ・実施日：令和8年2月10日（火）及び2月20日（金）
- ・*参加人数11名（教員11名）

2. 総括（今年度の学部 FD を通して得られた気づきや見つかった課題等）

学部基盤科目の運営改善を目的として，基盤科目の一つである「分子生物学」を公開授業に選定し，講義の進むめ方や工夫について意見交換を行った。また，ワークショップでは，基盤科目「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」とそれらに紐づく演習科目の成績を調査し，相関分析の解析データに基づいて，今後の基盤科目のありかたについてディスカッションした。この議論を通じて，基盤科目と演習科目の緊密な連携が学習効果の改善につながることを参加者が改めて認識できた。

3. 次年度に向けての取り組み

学部専門科目の運営改善に継続的に取り組むことを目的として，次年度も令和7年度の学部 FD の取り組みを継承する。そこで，学部基礎科目のひとつである「化学通論 A」を次年度の公開授業科目に選定し，ワークショップでの議論の進め方や今後の FD 活動について，学部主任会議メンバーと意見を交換した。また，今後の専門科目のありかたや演習・展開科目との連携について議論するため，学部基礎科目「化学通論 A」「化学通論 B」「生物学通論 A」「生物学通論 B」の成績分布を調査した。

※この内容は当該年度終了後、本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。